

煮えてなんぼのオ！

京っこおでんに候！

in キャンピング指月林

活動日時： A…12月10日（土）
B…12月11日（日）

活動プログラム：

午前	集合・移動	おはようございます。12月だけど、少し暖かくて活動にはピッタリのいいお天気だね。みんなで集合したら、まず活動場所まで移動していくよ。
	活動説明	今日、作るメニューは冬にぴったりの“おでん”だよ！みんなの具材を合わせて、味がたっぷりしみ込んだ美味しいおでんを作ろう！！ご飯を炊くことも忘れないでね。
	調理開始	グループの人数が少ないからこそ役割分担をしっかりと、調理を行っていきこう！次は何が必要かな？火の通りにくいものから入れていきこう。常に考えて動いてみよう！おでんは、具材を入れる順番が重要だよ。
午後	いただきます	おでんの美味しそうな匂いがしてきたね。具材が煮えているか確認してみよう！味がしみ込んでいたら食べる準備をして、みんなでおでんをいただきこう。
	片付け	沢山あった具材もあっという間に完食だったね。体も温まったところで、使った器材を綺麗に片づけよう。水が冷たいけれど、グループで力を合わせて最後まで頑張ろう！
	振り返り 解散	今日一日を振り返ってみて【どれだけ、グループのために動けたのか】を考えてみよう。今回の活動で学んだことを忘れずにグループのために考え続けることを大事にしていきこうね。



<全体感想>

今回の野外炊事では、“おでん”を作りました。また、今回はみんなの持ち寄った具材によってグループ分けを行った為、各グループで具材豊富なおでんが出来上がりました。また、今回のグループの人数はいつもより少ない人数で行いました。その結果、一人一人が常に動いているような状態を作ることが出来ました。野外炊事は、一通りの手順が進んでいくと手持無沙汰になり、遊び出してしまう人が出てきてしまいます。常に役割を見つけ、先を見通して行動に移していくことが野外炊事では必要な力です。今回は、人数を少なくしたことで役割も見つけやすかったのだと思います。人数が少ないからこそ、『やらなければならないこと』が目に見えます。だからこそ、動いていたのかもしれませんが、『やらなければいけないから、やる』から、誰かのことを考え『グループのことを考えて動く』へと、気持ちの変化をしていくことが今後の課題だと感じました。

（橋本 里佳）